

届出書記入例

楷書で丁寧に書いてください。

☆ 記入すべき事項がない欄については、「該当なし」と記載するか、斜線で消してください。

土地に関する権利が共有に係るものときは、代表とする方の住所及び氏名を記入するとともに、「他〇名」と記入し、別紙に共有者全員の住所及び氏名を記入し押印してください。

法人にあってはその名称及び代表者の氏名を記入し、代表者の職名印を押印してください。

該当する取引の形態に丸印を記入してください。

地番ごとに記載し、記載しきれない場合は別紙を用いて同様に記入してください。

住宅、倉庫、杉林等の別を記入してください。

工作物の場合は延べ面積、構造、使用年数を記入してください。
木竹にあっては、本数樹種、樹齢を記入してください。

売買、交換等の登記原因を記入してください。

地目及び単価が同じ場合は、まとめて記入してください。

実測による面積の増減によって対価が精算される契約であるかどうかについて、丸印を記入してください。

住宅、工場、商業施設等の用途を可能な限り詳細に記入してください。

利用目的に係る土地の面積に占める樹林地、草地、水辺地、砂地（庭園、植栽を除く。）以外の土地面積を現況と計画に分けて記入してください。
【記載例 〇〇%→〇〇%】

開発許可等の法的審査等の状況を記入してください。

この書類の提出日を記入してください。

様式第三（様式3-1-1）

土地売買等届出書

男鹿市長 殿

地目地番表（譲受人）
住所 〒010-0595
男鹿市〇〇字〇〇番地

氏名 男鹿株式会社
代表取締役 〇〇〇〇
(職名) 不動産部 〇〇〇〇

市町村名 男鹿市
区 分 〇〇
所・地・質・他 〇〇
受理番号 〇〇
処理番号 〇〇

年 月 日

1 不動産業
2 建設業
3 金融保険業
4 製造業
5 商業
6 運輸業
7 その他

国土利用計画法第23条第1項の規定に基づき、土地に関する「所有権（地上権・賃借権・その他）の移転（設定）」をする契約の締結について、下記の通り届け出ます。

契約の相手方等に関する事項	契約の相手方（譲受人）の住所 男鹿市〇〇字〇〇番地		高 度		契約締結年月日 年 月 日	
土地の区画	地番	面積	用途	登記簿	現況	登記簿(㎡)
	1	男鹿市〇〇字〇〇	〇〇	田	田	〇〇
	2	男鹿市〇〇字〇〇	〇〇	田	田	〇〇
計					計0.00	
利用の現況	届出に係る権利以外の権利					
1	田	該	当	無	し	
2						
3						
権利又は設定に係る権利	移転又は設定に係る権利以外の権利					
1	該	当	無	し		
2						
3						
登記原因	地上権又は賃借権の場合					
1	売買	該	当	無	し	
2						
3						
対価の額等に関する事項	非課税に課する対象の動産		工務事業に関する対象の動産			
1	田	〇〇	〇〇	〇〇		
2						
3						
4	有・無	計 (a)	平均 [(a)+(a)]	計 (b)		
5		0.00		0		
土地の利用目的	宅地分譲用地 (予定戸数 〇〇戸)					
利用目的に係る土地の面積	利用目的に係る土地の面積					
1	現況	入居率	%	想定人口	人	
2	計画					
3						

該当する業種に丸印を記入してください。なお、2つ以上該当する場合は、主な業種1つのみとさせていただきます。

契約の相手方の住所・氏名を記入してください。「氏名」欄は、法人にあっては、その名称及び代表者の氏名を記入してください。

届出に係る土地売買等の契約を締結した年月日を記入してください。

登記簿に記載された地目を記入してください。

現況に応じた地目を記入してください。

実測取引の場合に記入してください。実測を伴わない場合は記入不要です。

届出の土地に売買時に存する地上権、地役権、賃借権、抵当権、質権等がある場合にのみ記入してください。ただし、共有者の一部がその共有持分のみを移転する場合は記入してください。

地上権又は賃借権の登記の有無、地代の変更についての協議の期限の特約、原状回復義務の有無、定期借地権等について記入してください。

山林の取引で、土地代と立木代を一体で契約する場合は、この欄に「立木代含む」と記入してください。

対価額÷面積（円未満は四捨五入）

今回届出の土地のみで利用する場合は、届出の面積を、隣接地を併合して利用する場合は併合後の合計面積を記入してください。

住宅団地における想定人口を記入してください。